

幼児と遊ぶ「劇あそび」 ～指導者の役割と実践シナリオ～

佐藤 厚
Sato Atsushi

キーワード：劇あそび・表現者・リーダー・ガイド役・アイデアの共有・集団と個

はじめに

本実践記録は、「幼児・児童のための表現教育」の実践活動を行ってきた記録の一部である。劇あそびは、対象年齢、環境（場所）、子ども達のその時の状態によって当初のストーリーとは若干の相違や変更事項が起こりうる。ここに記述するものは、その中で幾度となく実践してきた内容に改良、改善を加えてきた実践シナリオである。

ただし、この実践例もまた、実際に活動する時は、子ども達の様子によって部分的に変えて行われる。

なぜなら「劇あそび」は、定められたセリフを覚えて活動するのではなく、その時々、瞬間に応じて変化し、子ども達、そして指導者も、より自由に生き生きとエネルギーに自己表現できる活動だからである。

【指導者の役割】

「劇あそび」の指導者は、時に登場人物のキャラクターを演ずる「表現者」であり、またストーリーテラーとして話を進行する「リーダー」であり、さらには場面を展開していく「ガイド役」としての存在でなければならない。話の筋道はあるが、その場面にに応じて子ども達からのアイデアを募り、あくまでも活動の主体は子ども達であるように進行する。

場面によっては、指導者も子ども達も主役になることもあれば脇役にもなりうる。ここが、「劇あそび」と、一人一役（あるいは複数役）を任せられ台詞を覚え発表する、いわゆる「劇」の発表と大きく違う点である。

【主な活動の様子】

活動の主体となる子ども達は、ストーリーに沿って集団で活動していく。子ども達も個人差

があり活発な子もいれば、おとなしく、また照れ屋な子もいる。そうした集団の中で一人一人が、安心して伸び伸びと活動できることが不可欠である。その為に初めは導入として、まわりの友達と活動を共にしつつ、失敗を恐れない環境を作る。(手あそびや歌あそびなど、手軽にできるものが望ましい。)

そして、劇あそび進行中は、時に一人のアイデアで全体が動いたり、一人ずつの動きや言葉を発する場面を設定することで個人としての存在もクローズアップする。また活動中、ストーリーの中での問題場面(葛藤)に直面した際、指導者は子ども達と、共に問題を解決する方向を導き出し、皆で解決した達成感を得る。ストーリーには、場面に応じて簡単な台詞または擬音、ジブリッシュ(意味のないめちゃくちゃ外国語、感情は含んでいる表現)や歌、ダンス等も盛り込み、より楽しい活動になるよう工夫を凝らす。

子ども達が「劇あそび」を体験することによって、フィクションの世界であるからこそ、豊かな発想、思い切った活動ができ、集団の活動で得られる喜びや楽しさを共感し合い、また集団の中でも個としての自立と自信を意識する機会となるように展開する。

劇あそび「宇宙旅行」

～ 実践シナリオ ～

- 目的：フィクションの世界を十分楽しもう。
ストーリーを理解し、友達と楽しみを共有しよう。
みんなでお話を創り上げる(楽しむ)為に、お互い工夫、協力したり助け合うことを体得しよう。
- 対象：5～6歳児
- 場所：幼稚園、保育園のホールスペース。(内容規模によっては保育室も可)
児童館などのホール。
- 用意する物：長めのロープ、ウレタン積み木、太鼓、シンバル、ウッドブロック、マット、パラバルーンなどがあればよい。
<効果音>-ロケット発射、デススター(悪者の星)、地球へ帰還、その他各星に合わせて工夫しても良い。
※効果音は、あくまで子どもの活動が主体となるようにしたい。また、音に頼りすぎ(凝り過ぎ)ては逆効果となる。ピアノだけの効果音でもよい。

【導入】

- ・お話が始まる前に、日常保育の中で歌っている明るく元気のいい歌を歌ったり、手あそび歌などで子ども達それぞれの意識を集中させる。
- ・星座や、宇宙に関する図鑑などを見ながら、「宇宙って知ってる?」「星見たことある?」

「どんな星がある？」などの質問をする。

- ・子ども達から「太陽、月、流れ星、火星、惑星、ロケット、宇宙船etc...」など、宇宙に関わる色々な事柄を発言させ、イメージを沸かせる。
- ・図鑑の間に手紙が挟まっている。（又は、園に手紙が届く）それは、何やら薄汚れた手紙で、色々な文字が描かれている。その手紙を読んでみると...

【展 開 1】

◎主な配役：子=子ども達、T=指導者・先生、デ=デススター、王=ライトスターの王子

＜ストーリー＞

T：「○○○○幼稚園の皆さん、助けてください。僕は『ライトスター』と言う星の王子です。僕たちの星では、皆いつもとても明るく元気に、仲良く暮らしています。歌を歌ったり、サッカーしたり、皆でお料理作ったり、遠足に行ったり、それはそれは楽しく暮らしているのです。時々けんかもするけどすぐに仲直り。その後はもっと仲良くなるんだ。ところが最近『デススター』と言う暗黒星雲からやって来たとても恐ろしい星が僕たちの星に近づいて来て、真っ暗闇の星にしてしまおうとしているんだ。『ライトスター』の皆も暗くならないように明るく元気な歌を歌ったりしているけど、このままだと『デススター』の力に負けて真っ暗になってしまいそうなんだ。そうになると、歌わなくなるばかりか、喧嘩やいざこざばかり増えて、『ライトスター』は滅びてしまう。そこで、どうかお願い。僕たちの星に来て、明るく元気な歌を歌って欲しい。皆で力を合わせればきつともとの明るい『ライトスター』に戻れるはず。もう、時間がない。『デススター』がそこまでやって来ている。早く、早く着て。ライトスターに来る途中にはいくつかの星を通過して来なくてはいけないけど、お友達と助け合って来てね。気をつけて。でももし、途中で『デススター』に会っちゃったら、慌てず、皆で力を合わせてできるだけ元気な声で笑うんだ。『デススター』は子どもたちの元気な笑い声が大嫌いなんだ。笑い声だよ。頼んだよみんな。待ってるから...。」

【展 開 2】

T：みんな、どうする？助けに行こうか？

（勇気をもって助けに行く雰囲気にする。）

よし、では宇宙に行く準備をしなくちゃね。宇宙に行くには何が必要かな？

子：宇宙服。ヘルメット。酸素ボンベ。ロケット。スペースシャトル。etc...。

T：そうだね。『ライトスター』に行くまで色々な星を通過していかなくてはいけないんだけど、みんな大丈夫だよ。お友達と一緒にだもんね。どんな星があるのか楽しみだね。

あ、そうだ。もし『デススター』が現れたらどうするんだっけ？

子：笑う！

T：そう、大きな声で笑うんだよ。

(ここでは、あまり使命感にかられないように明るく。)

次は、ロケットを用意しよう。これ！

(長いロープを出す。子どもたちからは「え～そんなんじゃ行けないよ。どうやって行くの？」等の声があがる。)

大丈夫。こうやって大きな一つの円にして(先生方で広げる。)みんなこの中に入って！そして、肘でロープを抱えて。いいかな？ おっと、宇宙服着てなかったね。

(ヘルメットをかぶったり、宇宙服を着たりはいたりする。)

シートベルトを締めて。準備OK？

子：OK！

(無線交信をするように。マイクなどを使っても良い。)

T：ア～こちら宇宙航空ステーション。聞こえますか？どうぞ。

子：聞こえます。どうぞ。

T：みなさんは、これからどこへ出発するのですか？どうぞ。

子：ライトスター。

T：何をするために？どうぞ。

子：明るくする。デススターから守るため。

T：そうですか。では、気をつけて、元気で行ってきて下さい。どうぞ。

子：行ってきま～す！

T：では、ロケット発射、秒読みに入ります。しっかりつかまって下さい。

少し大きな音がしますがしばらく我慢して下さい。

《効果音：以下ME…Music Effectの略 SE…Sound Effectの略と表示》

《ME 1. ロケット発射!!》

《SE 1. 宇宙音流れる中、最初の星に到着。》

T：ここは？ふわふわ星だ。みんなそ～っと周りを見てきてみよう。

(ゆっくりスローモーションで動くことを楽しむ。)

何かふわふわしたもの見つかった？見つけたら先生やお友達に見せてね。

(辺りを散策。お互いに見つけたものを見せ合ったり質問したりする。※もちろん実際は見えない、イメージ『想像』の世界を楽しむことを大切に。)

そろそろ次の星に行こう。みんな集まって。カウントダウン5・4・3・2・1・で

シュワッ！だよ。行くよ。さんハイ！

子：5・4・3・2・1・シュワッ！

T：ここは？ジャンプ星だ。動く時は「ジャ～ンプ！」と言いながら全部ジャンプだよ。いいね。では行ってらっしゃい。

子：J u n p . J u n p . . .

T：そろそろ次の星に行こう。みんなジャンプで集まって。

カウントダウン、5・4・3・2・1・でシュワッ！だよ。行くよ。さんハイ！

子：5・4・3・2・1・シュワッ！

T：ここは？なぜなぜ星だ。色々ななぜなぜがあるぞ。答えないと出られない。

まいったなあ。

(陰のアナウンス〔以下、カゲアナ〕が幾つかのなぜなぜを出し、子どもたちが答える。

またその反対をし、カゲアナが「ヒェ～まいったあ」等のやり取りを楽しむ。)

次の星に行こう。みんな集まって。カウントダウン、5・4・3・2・1・で

シュワッ！だよ。行くよ。さんハイ！

子：5・4・3・2・1・シュワッ！

(以下、「でこぼこ星」「ごろごろ星」「細長星」「積み木星」「海の星」等いくつかCM…
クリエイティブ・ムーヴメントにつながるような星を設定。子どもの発案を取り入れても
良い。)

＜SE 2.＞

—するとそこに、おどろおどろしい音とともに「デススター」のカゲアナ（先生の役）。

子ども達の状態によっては、先生（指導者）がサングラスなどをかけて実際のデススターに
扮してもよい。

デ：だあれだあ。いったいどこへ行くう。

子：ライトスター。

デ：ナニ？ライトスターだとお。何をしに行くのだあ。

子：デススターから守って、明るくする。

デ：なんだとお？ヌアハハハハ・・・！ わしがそのデススターじゃあ！おまえらみんな真っ
暗にしてやるわ！ごおおわあああ！

T：わあ！みんな気をつけて。よし、光線銃でやっつけろ。

子：プシュー！ビビビビィー！

デ：ヌアハハハハ・・・！そんなものでわしを倒せると思っておるのかあ。

ごおおわあああ！

T：どうしよう、みんな。どうするんだったっけ？

子：笑うんだよ。大きな声で。

T：そうか。そうだみんな、大きな声で笑え、笑えー。

子：ぎゃははは、わははは、きゃははは！！

デ：うわあ！やめろやめろ。何だこの楽しい笑い声は。身体の奥が熱くなる。

や、や、やめろ、やめろ、やめてくれ～！

(一旦音が小さくなりかけるが、再び大音響とともにデススターの声が…)

デ：まだまだまだあ！ごおおわあああ！

子：ぎゃははは、わははは、きゃははは！！

デ：うわあ！あ～ああああ……。

〈SE 2. フェードアウト〉

T：やったあ！デススターをやっつけたあ！ふう～みんな大丈夫だった？

ちょっと怖かったけどね。さあ、そろそろ、ライトスターに行かなくちゃ。みんな集まって。カウントダウン、行くよ。さんハイ！「5・4・3・2・1・シュワッ！」

(薄暗い星に到着。)

ここか？なんか、暗い感じだね。早くしないとまた、デススターがやって来るといけない。みんな、ライトスターが元通りの明るい星になるようにするには、どうするんだっけ？

子：元気に歌を歌う！

T：何の歌がいい？

(子どもたちから、歌を募り元気に歌う。または、知っているダンスなどがあれば踊ってみてもよい。)

T：素晴らしい歌だったね。明るくなってきたかどうか、聞いてみよう。きっと何か合図をしてくれるよ。

子：明るくなったかな？

(合図がない。)

T：あれ？もう一度。

子：明るくなったかな？

(ストロボのフラッシュライトが光り、カゲアナでライトスターの王子の声。または、先生が王子に扮して登場。)

王：みんな、来てくれてありがとう。みんなの楽しく、元気な歌声のお陰でライトスターは元通りの明るさになってきたよ。もっともっと明るくするように僕たちも元気に頑張るからね。本当にありがとう。

T：よかったね。でも、またデススターがやって来たらどうするの？

王：大丈夫。だって、さっきみんなが歌ってくれた歌を元気に歌えばへっちゃらさ。

T：そうだね。とっても元気な歌だもんね。じゃ、そろそろ僕たちも地球に帰らないとね。さあ、みんな帰る準備をしよう。

王：ちょっと待って！みんなが、安全に元気に帰る事ができるようにしてあげたいんだ。先生、『ワープ星』を通して行って下さい。

T：ワープ星？

王：そうだよ。

T：どうやって通って行くの？

王：この星は一人ずつ、飛んでいくんだ。一人一人のお友達の名前をみんなで大きな声で呼んであげてね。でないと、落ちちゃうからね。みんな、頼むよ。

T：わかった。よし、ではみんなこっちに集まって。

(部屋の角に集合。)

それじゃ、ライトスターのみんなに挨拶してから帰ろうか。

子：はい！元気でね。また来るね。バイバ～イ。etc...。

(ストロボの合図など…。)

＜ME 2. ワ～プで帰る＞

※一人一人、自分の名前を言って、周りの皆は「〇〇ちゃん！」と呼んであげる。先生、指導者は、子どもの両脇を支えて飛び越す。参観などの場合、保護者に手伝って頂いて、ワープ星<ロープで床に円状に描いたもの>を超えて行く。

(パラバルーンがある場合：ロープを飛び越えた後、子ども達がパラバルーンの半球状の中に入ってまわりを少し暗くし、複数のストロボでピカピカ光らせるなどの効果を入れてもよい。)

全員帰ってきたら、「ただいまあ」という。先生や保護者がいれば「おかえりなさい。」と答えてあげてほしい。

＜ME 2. フェードアウト＞

＜ME 3. 静かな音楽流れる中…＞

T：みんな、今日はライトスターを明るくしてくれて本当にありがとう。ひょっとして、今夜、天気が良くて星がきれいに見えたら、ライトスターが輝いて見えるかもね。

お・し・ま・い。

構成・指導：佐藤 厚

【主な実践場所】

- ・ 福井県児童科学館
- ・ 学校法人 清和学園 郡山敬愛幼稚園
- ・ 社会福祉法人 智恩福祉会 こどもの園敬愛保育園
- ・ 学校法人 井上学園 飯山中央幼稚園
- ・ 私立 めぐみ保育園
- ・ 劇団ひまわり 俳優養成所

【参考文献】

- ・ 「劇あそび 春夏秋冬」 花輪充 鈴木出版株式会社
- ・ 「朗読劇台本集」 岡田陽 玉川大学出版部